

県立高校2年研「課題研究報告書」(最終)について

1. 目的

(実践的) 課題研究は、初任者各自が日々の教育活動を通して課題を設定し、管理者や先輩教員等の助言を受けながら、主体的に取り組む研修です。

初任者にとってきわめて重要なのは、2年目以降、自らが課題を持ち、主体的に研修できるような態度・能力が形成されるようになることです。その意味で、初任者自身が2年目に自らの手でその解決に当たる課題研究の実施は意義のあることです。以上のように、教育活動を進める上での問題点の所在を明らかにするとともに、問題の解決方法を修得することを目的とする。

2. 研究テーマについて

研究テーマは、次の(1)～(4)のなかから一つ選択する。

- (1)各教科、特別活動等の実践に関するもの。
- (2)生徒指導・進路指導等の実践に関するもの。
- (3)ホームルーム経営等の実践に関するもの。
- (4)教材、教具の開発に関するもの。

***研究内容は学校現場で実践可能な内容が望ましい。**

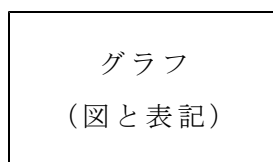
3. 報告書の作成について

- (1) **A4白紙を縦置き**で使用する。(文字サイズは10.5ポイントを基本とする。)
- (2)ワープロで横書き、47文字×50行とする。
- (3)マージンを上21mm, 下20mm, 左右18mmを基本とする。
- (4) **枚数は図表も含め4枚**とする。
- (5)提出された報告書は、そのまま印刷(写真取り)でします。
- (6)グラフや表は、白黒印字が望ましい。(印刷は、全て白黒仕上げです。)
- (7)項目を細別するときの番号の打ち方 I 1 (1) ① ア a . . .の順でお願いします。
- (8)「表」と「写真」・「図・グラフ(図とする)」の表記の仕方

表○ タイトル



写真○ タイトル



図○ タイトル



図○ タイトル

- (9)記述の引用又は参考にした文献は、その出典を明らかにして下さい。

記入例：「著者名、発行年、書名、発行所」の順で書いて下さい。

- (10) ページ番号は、挿入しないで下さい。

- (11)報告書の中で、児童・生徒の写真に掲載する場合は、本人が特定できないよう十分配慮する。また、報告書の内容上、写真の掲載に関しては、事前に保護者の了解を得る。

4. 報告書の提出先・期限・部数

- (1)提出先：県立総合教育センター(〒904-2174 沖縄市字与儀3丁目11番1号)

2年研担当 林貴子 まで

- (2)提出期限：令和7年1月14日(火)

- (3)提出部数：紙文書(PDFファイル)2部(片面印刷：4枚)・上記提出先に学校でまとめ郵送にて提出
電子データ(PDFファイル)1部・・・下記アドレスまでメールで提出

hayashta@pref.okinawa.lg.jp

ファイル名 初任者番号 氏名(学校名)課題研究最終報告書 (例) 01 林貴子(首里)課題研究最終報告

(鏡文をつけ、学校代表端末からまとめて提出)

- A4縦置き (47文字×50行 マージン：上21mm, 下20mm, 左右18mm) を基本とする。
(○は文字, □はスペース)

読解力を高める朗読指導の工夫 (16p MSゴシックセンターリング)

— ○○○の表現活動を通して (12p MSゴシックセンターリング) —

□□ (1行あける) □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ (10.5pの空白) □□ ↑ (一の横倍角)
沖縄県立○○高等学校教諭□金□城□貴□子□□□

□□ (1行あける) □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□ (10.5pの空白) ↑

I □はじめに (12p MSゴシック, 但しローマ数字 I ~ VIに関しては12p MSPゴシック)

□○○○○○・・・
 ・・・

II □研究の概要

□1 □テーマ設定の理由 (10.5p MSゴシック)
 □□(1) □○○○○○ (10.5p MS明朝)・・・
 ・・・

□2 □研究仮説

□□(2) □○○○○○
 ↑半角開ける (括弧, 数字は半角)

III 研究方法

□1 □○○○○○
 □□(1) □○○○○○
 □□□①□○○○○○
 □□□□ア□○○○○○・・・
 ・・・
 ・ ・ 図 (グラフは図と表記する),
 ・ ・ 写真は番号を付けて下に題目を付ける→
 ・ ・ (9MSゴシックセンターリング)

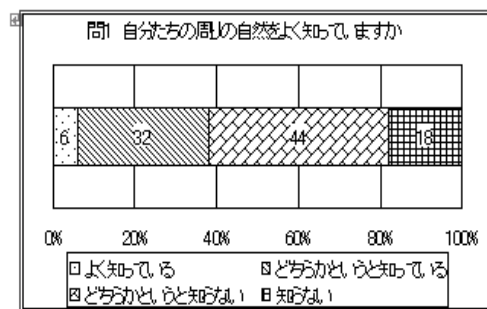


図1 事前アンケート結果1図

IV 実践報告

□○○○○○・・・
 ・・・

V 考察と今後の課題

□○○○○○・・・
 ・・・
 表は番号と題名を上につける→
 (9MSゴシックセンターリング)

表2 参観者による授業評価

評価項目	平均評定
1 地域の素材を活かすことができたか	4.8
2 生徒は露頭の観察を興味を持って行っていたか	4.5
3 素材研究の成果 (観察カード・ワークシート) が活用されていたか。	4.3
4 生徒は身近な自然を積極的に探究しようとしていたか	4.5

VI 終わりに

□○○○○○・・・
 □□ (一行あける) □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ (10.5pの空白)

〈主な参考文献〉 ←表題 (10.5pゴシック), ↓内容 (10.5p明朝・左詰)
 入江・霜田編□2000『コミュニケーション理論の射程』□ナカニシヤ出版
 広田照幸□1999□『日本人のしつけは衰退したか』□講談社新書
 著者名□年 (西暦) □「論文名」『雑誌名』□第1巻・号, 頁

内容

*ページ番号は挿入しない

※紙文書・電子ファイルともにPDFデータで提出をお願いします。